

住まいの総合相談窓口

取り組みの概要

住まいに関する情報を市民に一元的に提供する窓口で、内容によりそれぞれの専門住宅関連機関へ橋渡しを行い対応してもらうことで、多様な市民ニーズに応えるものです。

協働の きっかけ

住まいに対する市民ニーズの多様化に対応するため、市内の住宅の9割を占める民間住宅も含めた、良質な住宅ストックの形成、利用、維持などの総合的な施策を展開する必要性が高まっています。市民が安心して住宅を取得・選択できる環境整備を図るため、住情報の提供や相談体制の整備などに取組むものです。



協働の 成果

相談者に対して、専門機関から得た詳細な情報の提供や、円滑な専門相談先への紹介が可能となっており、除々に利用実績が増加しつつあります。

協働のポイント

窓口の利用者が未だ少ない現状にあり、今後、窓口のPRを図り利用率を上げることが必要です。

